

モード Mode Mode は語る

中野 香織

日経新聞読者のみなさま、こんにちは。本欄では、社会の変化を映し出すようなファッション現象をキーワードとともに追っていきます。



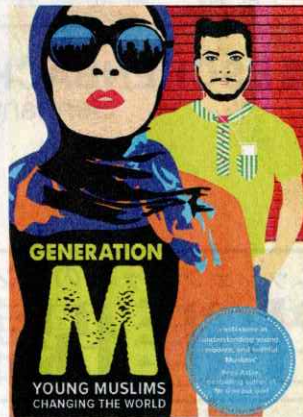
さて、今日は、これから一大市場を築きそうなモデスト・ファッションについて。ムスリムを対象とした「慎み深い」ファッションのことである。ロンドンで今年1月、初めてのモデスト・ファッション・ウィークが開かれ、40人以上のデザイナーが参加した。東京でも昨秋、初のモデスト・ファッションショーが行われているし、ユニクロも2年前からハナ・タジマをデザイナーに迎え、海外でモ

ムスリムファッション

慎み深さ・華やかさ 共存

デスト・ウェアを展開している。ドルチェ&ガッバーナのようなブランドもムスリム・コレクションを発表し、ファストファッションのH&Mもムスリムのモデルを起用している。満を持して、今月5日、アラビア版「ヴォーグ」も創刊された。

ブームを後押ししているのは、ジェネレーションM、つまりムスリムのミレニアル世代である。ジェネレーションMというのは、シェリナ・ジャンモハメッドというムスリムの女性が昨年11月に出版した本のタイトル。活動的でテクノロジーにも明るい、裕福な若いイスラム教徒をさす。彼らはインターネットでつながり、グローバルに存在感を発揮しながら、



ムスリムのミレニアル世代に光をあてた「ジェネレーションM」の表紙

社会を良い方向に変えようとしている。現代的な生活と信仰とは矛盾しないと考え、都市文化の精華を享受しながら、イスラム教の戒律を守り続けているのも特徴である。

モデスト・ファッションにおいても、髪と身体の大部分を覆い隠し、身体のラインは包み隠すというルールはほぼ遵守。コレクションでは、あらゆる素材を駆使したバリエーション豊かなデザインが登場し、今後の可能性を期待させた。

SNSを開けば露出過多の写真が氾濫する時代。肌見せに飽きた人たちが、信仰に関わらず、モデスト・ファッションを新鮮な選択肢のひとつとして身にまとい、写真をアップする明日も想像に難くない。その態度が慎み深いかどうかは、また別の問題ではあるのだが。

(服飾史家)